

第1回 那覇空港調査連絡調整会議 幹事会

議事概要

1 日時 6月20日(月) 16:30~18:00

2 場所 沖縄ハーバービューホテル 2階 白鳳の間

3 出席者

(1) 幹事

内閣府沖縄総合事務局開発建設部港湾空港指導官	酒井 洋一
国土交通省大阪航空局飛行場部次長	梅野 修一
沖縄県企画部参事	傍士 清志

(2) 内閣府沖縄振興局からの参加

内閣府沖縄振興局振興第三担当専門官	篠 良一
-------------------	------

(3) 国土交通省航空局からの参加

国土交通省航空局飛行場部計画課専門官	木原 正智
--------------------	-------

(4) 内閣府沖縄総合事務局開発建設部からの参加

内閣府沖縄総合事務局港湾・空港整備事務所長	三宅 光一
-----------------------	-------

4 次第

(1) 開会

(2) 出席者紹介

(3) 議事

議事1 那覇空港調査PI評価委員会の評価・助言の確認

那覇空港調査PI評価委員会の評価・助言について、資料1のとおり確認された。

議事2 那覇空港調査PI実施計画(案)について

「議事2 那覇空港調査PI実施計画(案)について」に関するPI評価委員会の評価・助言に対する対応策を下記のとおり決定した。

(1)PIという語句は分かりにくい、事務局が今後PIを広めていきたいということ尊重する。表現はもう一つ工夫が必要。

(対応)パブリック・インボルブメント(PI)について、理解し易いように【パブリック】と【インボルブメント】の英訳等を説明に追加する。

(2)ハンディ・キャップのある方への情報提供の仕方については、PI評価委員会の評価助言を参考に今後検討していく

(対応)ハンディ・キャップを持っている方へは、関係福祉団体を通じて説明会への呼びかけを行い、必要に応じ手話による説明も行う。また、ホームページ上の音声による情報提供についても有効と思われるので検討を行う。

(3)PIレポートの表紙について

あなたの声をください。等の表現を加えた方がよい。
もっと便利な、もっと利用しやすいは同様な意味。表現について工夫が必要。

(対応)同様な意味と指摘された『もっと便利な「那覇空港へ」。もっと利用しやすい「那覇空港」へ。』のキャッチフレーズを、「りっかPIさな」の全体像である『「那覇空港」をいっしょに考えていきましょう。あなたの声をください。』というキャッチフレーズに改める。

(4)「りっかPIさな」はカタカナ言葉と方言が混じって分かりにくい。わかり易く親しみのある言葉に修正していく。

(対応)『「りっかPIさな」(さあPIしましょう)空港から見える沖縄の未来』は、これまでキャッチフレーズとして使用してきたのを、今回小さくして記号のように扱った。今後はロゴマークの様な扱いとして残していきたい。前項でのキャッチフレーズの修正で「りっかPIさな」の全体像も分かり易くなる。

(5) 実施スケジュールの詳細を示した方が良い。PI レポートの配布部数、配布場所、説明会の開催日など。

(対応) 那覇空港調査 PI 実施計画とは別にチラシ等で、報告書の配布場所、説明会の開催日程等がわかるようにする。また、詳細な日程についてホームページに掲載するとともに新聞を活用した広告についても検討をする。

(6) アンケート調査票に名前・住所を記載する欄があるが、名前が書かれていなくても、まじめな意見であれば採用すべき。

(対応) 評価委員会の助言を踏まえ、アンケート調査票に名前・住所等の記載がなくても採用することとする。

(7) PI 評価委員会の評価する視点や事項をまとめて欲しい。

(対応) 評価する視点や事項 (案) を作成する。

那覇空港の総合的な調査 PI レポートについて

「議事 3 那覇空港の総合的な調査 PI ステップ 1 について」に関する PI 評価委員会の評価・助言に対する対応策を下記のとおり決定した。

(1) 表紙について、「PI レポート」とはPI の実施結果の意味に読み取れるので、表現を工夫すること。

(対応) ストレートな表現を採用し、「那覇空港の調査報告書」に改める。

(2) 一般の人が分かるようにとの発想 (回答者の立場) で、「はじめに」の表現方法を含め検討すること。

(対応) はじめて読む人の立場に立ち、那覇空港の将来像、那覇空港の総合的な調査の必要性、PI の意味などが分かるように、表現方法を再考する。

(3) 二本目の滑走路など、誘導的と思われる表現が見られるので、表現方法を検討すること。

(対応) 誘導的と思われる表現については修正を行う。

(4) 目次構成を再考すること。(例：役割は前半に持ってくる、第1章は最後に

(対応) 目次構成については、一般県民が理解し易いように目次構成を再考する。

(5) 意見を出したい人に確実に資料が行き届くようにして欲しい。

(対応) 意見を出したい人に確実に資料が届くように、PI 周知広報や PI 実施活動を行う。

(6) アンケート調査票を見直して欲しい。

(対応) 意見を出し易くするようにアンケート調査票の見直しを行う。

(7) 管制に関する記述を加えて欲しい。

(対応) 評価委員から指摘のあった嘉手納ラプコンの記述を追加する。

(8) 既存ストックの有効活用と PI の関係について明確にする必要がある。

(対応) 交通政策審議会航空分科会の答申においては、既存ストックの有効活用方策についても幅広い合意形成を図るとされている。したがって、誘導路の整備やターミナル地域の整備計画等については PI の対象とし、ステップ2における県民等の意見を参考に実施に移していく。

今後のスケジュールについて

今後1週間後までに提出されるPI評価委員からの評価・助言を踏まえ調査報告書の修正を行う。

その他

誹謗・中傷等のため参考にしなかった意見については、事前レクで委員へ報告することとする。

以上